

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

発表演題名	福井県内における紅斑熱群リケッチア保有マダニの分布状況
発表学会名	第 36 回北陸公衆衛生学会
発表者名	石畝 史、山崎史子、永田暁洋、藤田博己（大原総合病院・大原研究所） 高田伸弘（福井大学・医学部）
開催場所	福井市地域交流プラザ（アオッサ）
発表日時	平成 20 年 11 月 11 日
発表内容	2007～2008 年に取立山、経ヶ岳、赤兎山、刈込池、浄法寺山、部子山、冠山、野坂岳および雲谷山の 9ヶ所の登山道でマダニを採集した。マダニ相は地域により異なるものの、3属9種計 194 個体が得られた。培養の結果、ヒトツトゲマダニ（Im）で冠山の 1/4 および経ヶ岳の 1/1、ヤマトマダニで刈込池の 1/13 から紅斑熱群リケッチアが生菌分離でき、塩基配列を調べた結果、前者は <i>R. helvetica</i> (Rh)、後者は病原性が未だ不明の <i>R. asiatica</i> と同定された。以前に、百里ヶ岳の Im から Rh の分離があるので、福井県では紅斑熱群リケッチア症患者が感染したと考えられた荒島岳を含めて、計 4 地域の Im から Rh が分離されたことになる。北日本ではシュルツェマダニから Rh の分離報告もあることから、中部以北では、Rh 感染による紅斑熱の潜在には留意を要すると思われた。 この他に、野坂岳のフタトゲチマダニ（HI）から紅斑熱群リケッチアが生菌分離され、未同定であるが、HI 由来株は既報告によれば日本紅斑熱の病原体の <i>R. japonica</i> 近縁種の Lon-type と思われる。